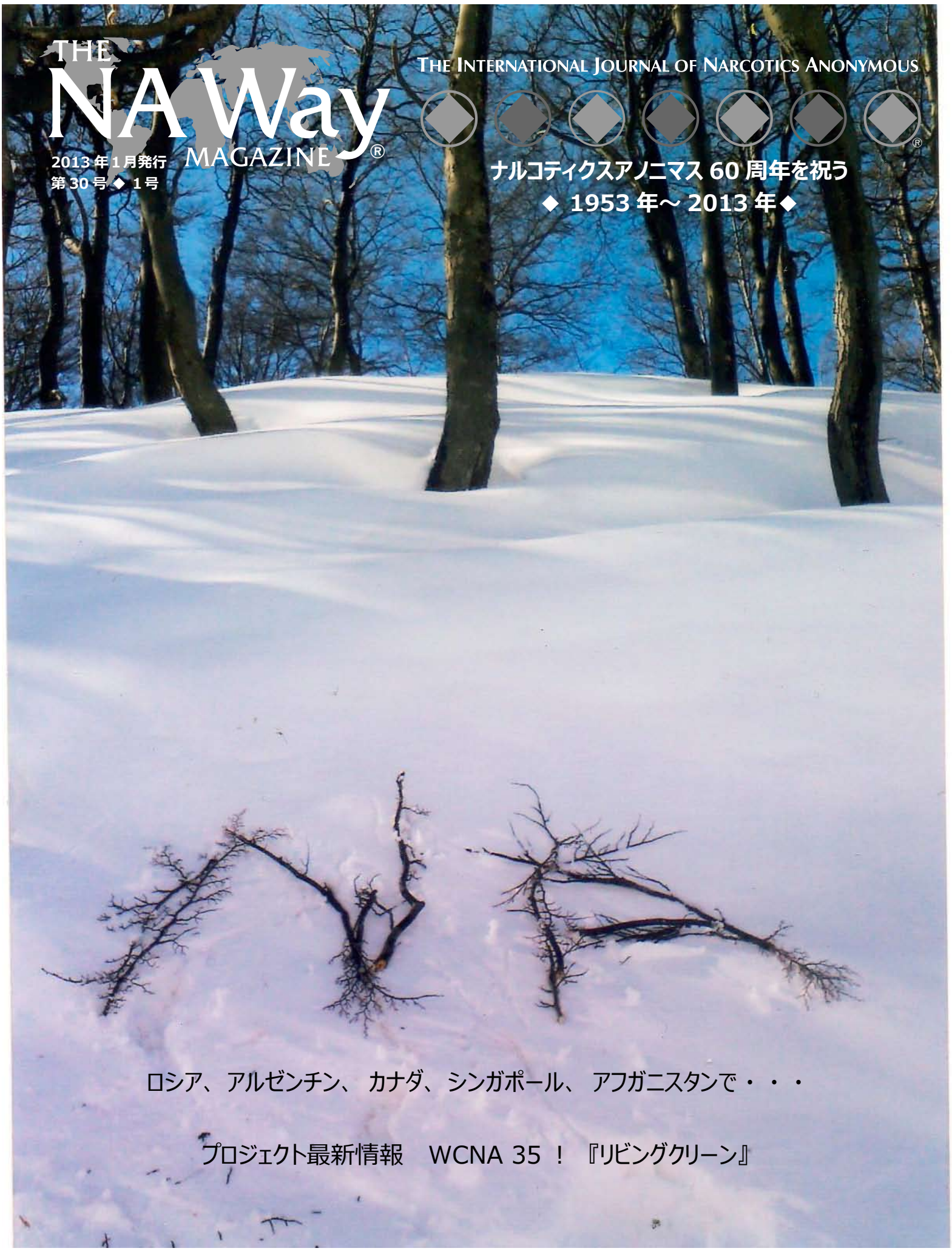
THE NA Way MAGAZINE®

2013年1月発行
第30号◆1号

THE INTERNATIONAL JOURNAL OF NARCOTICS ANONYMOUS

ナルコティクスアノニマス60周年を祝う
◆1953年～2013年◆



ロシア、アルゼンチン、 カナダ、シンガポール、 アフガニスタンで・・・

プロジェクト最新情報　WCNA 35 ！『リビングクリーン』

THE NA Way MAGAZINE®

世界中で読まれている NA の定期刊行物

NA Way マガジン は、 ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、 英語、 ペルシャ語、 フランス語、 ドイツ語、 ポルトガル語、 スペイン語など、 さまざまな言語で出版されている。 そしてこの雑誌の使命は、 ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、 そこには回復にまつわる喜びだけでなく、 現在 NA で問題となっていることや世界中の NA メンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。 編集スタッフはこのような使命に従い、 世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、 自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、 現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。 だが、 これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、 どんなアディクトであっても、 薬物を使うのをやめることができ、 使いたいという欲求も消え、 新しい生き方を見いだすことができる』という NA の回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

NA world Service, Inc.
PO BOX 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818)773-9999
Fax: (818)700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジン では、 読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。 この年に 4 回発行される定期刊行物によって、 ぜひ、 世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。 回復するなかでの経験はもちろんのこと、 NA のさまざまなことに関する意見や、 これからの課題などについても投稿をお待ちしている。 ただし、 投稿された原稿はどれもみな、 ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。 購読の予約、 編集に対する意見のほか、 著作権など実務的なことでの相談は、 PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジン は、 NA メンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。 ここには NA 全体の意見は表明されていない。 そしてもちろん、 ナルコティクス アノニマス、 NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されてはいない。 また、 インターネットから NA Way マガジンを配信することを希望する場合には、 上記のアドレスに手紙をいただくか、 naway@na.org に e メールをいただきたい。

NA Way マガジン （The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421）、 NA Way （The NA Way）、 ナルコティクス アノニマス （Narcotics Anonymous）、 この 3 つは、 ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。 NA Way マガジン は、 ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 （19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311） によって、 年に 4 回発行される。

編集者から、 ひとこと

国や地域はちがっても、 心はひとつ

わたしがこうして NAWS （NA ワールドサービス） で働くようになって最初に学んだことのひとつは、 さまざまなＮＡがひとつにまとまってナルコティクス アノニマスという「仲間の集まり」が存在するということだ。 わたしは今月号の編集をしながら、このまとまりのことを考えた。 NA W ay には、 いろんな国や地域のいろんなＮＡからいろんな記事が寄せられてくるからだ。 そのどれもが、 いざ紙面に掲載されてみるとそれなりの関連性があったりするので、 なんだか手品をみているような気になる。 それは今月号を読んでいただければわかるだろう。

ひとつの話は、 シンガポールを舞台にしている。 63 の島々からなり、 約 276 平方マイル （およそ 714 平方キロメートル） の広さがある国だ。 このシンガポールのＮＡでは 8 つのミーティングが開かれ、 ホームページ www.nasingapore.org にはミーティングリストが掲載されている。 また、 シンガポールとは地理的に正反対のところにあるロシアは、 ほぼ 600 万平方マイル （およそ 170 平方キロメートル） におよぶ広さの国だ。 信頼されるしもべたちがリージョンやゾーンのイベントに出席するには、 何千マイルも移動するため、 何日かの旅行になってしまう。 そしてさらにシンガポールとロシアからとんでもなく遠く離れ、 文字通り地球の反対側で、 世界の最南端にあるとされるＮＡグループからは熱狂的な『グループ紹介』が寄せられている。 このアルゼンチンという南極大陸のちょうど 600 マイル北にある国では、 2012 年の 8 月に NA ミーティングが開かれるようになったのだ。

そして、 今年は NA 全体にとって記念すべき年になろうとしている。 そう、 60 周年だ。 今月の NA W ay マガジンは、 ナルコティクス アノニマスという仲間の集まりがゆっくりと時間をかけて （ときには大きなプレッシャーにさらされて）、 まさにダイヤモンドの原石が光り輝く宝石となったことを彷彿 (ほうふつ) させるものになっている。 メンバーが十人十色でお国柄や地域色も豊かであることが、 ナルコティクスアノニマスという仲間の集まりをダイヤモンドのように強固で多面的な輝きを放つものにしているのだ。 ド・J （エディター）

Electronic subscribers can click here for exclusive NA history content.

今月号の掲載記事

特集記事 3
旅行記
分かち合い 5
わが心のアフガニスタン
回復の旅
ステップワーク・・・ステップが働く
グループ紹介 8
WCNA 35 参加登録 9
ロシアの NA 13
知ってた？ 14
サービスシステムプロジェクト最新情報 15
『トラディションブック』プロジェクト最新情報 16
IP『アン・イントロダクション・トゥ・NAミーティング』プロジェクト最新情報 16
『リビングクリーンクリーン』 16
カレンダー 17
Coming Soon 18
Product Update 19

＜表紙の写真＞ ティエラ・デル・フューゴ （アルゼンチン） : レオナルド・ I （アルゼンチン／リオグランデ）

NA Way マガジン では、 読者のみなさんからのお便りをお待ちしている。 掲載された記事に対する感想はもちろん、 NA という集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、 エディター宛に送っていただきたい。 250 字以内にまとまっていれば、 そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。 お便りには、 本名、 現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。 掲載される場合には、 アノニマスでという希望がないかぎり、 ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

特集

旅行記

Russian-speaking Zonal Forum 29-31 July 2011

俺たちNAの仲間４人は、午前５時までにはお茶入り水筒を３つ用意して車に乗り込み、旅の安全を祈ってトムスクを出発した。バルナウルで開かれるロシアン スピーキング ゾーナルフォーラム（ロシア語によるゾーナルフォーラム）に出席して、俺たちシベリア アンド ファーイーストロシア リージョンの関心のほどを示すんだ。この旅ではやることがいくつもあった。まず、俺たちの第２回リージョナルコンベンションによる記念グッズを届けること。それから、トムスクエリアのＰＩサブコミティ（広報小委員会）に代わって発表を行うこと。そして、ワークショップの司会進行を努めることでフェローシップディベロップメント（NAの誕生や発展）の取り組みを支援しようと、フォーラムに参加してくれるワールドボードとNAワールドサービスのスタッフたちにもひとことご挨拶したかった。

フォーラムの開催場所までは車で６時間かかった。「キャピタル・オブ・ザ・ワールド・リクリエーション・セントレ」という湖のある広大な場所だ。木造の家が建ち並び、ロシア風呂（バンヤ）もいくつかある。ベンチがたくさんあり、あちこちに見晴らし台や小屋もあり、祈りと黙想には不自由しなかった。そのほかにも、お茶を飲んで水パイプをふかしたり、バレーボールや野球やサーカーをしたりと、仲間と出会って楽しい時間を過ごせるスペースがあった。だが、なんといっても、ポールのてっぺんでNAの旗が誇らしげにたなびいていたのが最高だった。トムスク近隣のエリアからも、仲間たちが続々と到着していた。こうして顔なじみの仲間と再会したり、新しい仲間に出会ったりして、世界に広がるNAファミリーの一員なんだと実感することがどんなに幸せか、わかってもらえるだろうか。

そんなこんなで、金曜の朝にはロシアン スピーキング ゾーナルフォーラムの会議が始まっ

た。 このフォーラムはもともと、 2010 年の４月にサンクト・ペテルブルグのウェスタンロシア リージョナルコンベンションで誕生したんだ。 そして同じ年の 11 月にはチュメニ （西シベリア南西部） で２回目のフォーラムを開催した。 今回は、３回目であると同時に、 シベリア アンド ファーイーストロシア リージョンで開かれる第１回のゾーナルフォーラムとなった。

その日の午後、 遅くのことだ。 ロシア中からやって来た仲間たちと一緒に過ごしていると、 みんなが正面玄関に向かって移動しはじめているではないか。 みるからに興奮して「到着したぞ！ 会いに行こう！」と騒いでいる。 玄関につけた車から、 何人か降りてきた。 ふつうの人に見えたが、 フォーラムの出席者のなかで何が違うといったら、 その年齢だった。 女性が１人と男性が３人。 NA ワールドサービスの代表者たちだった。 ４人とも実ににこやかではあったが、 ちょっと警戒してたと思う。 車から降りるか降りないうちに、 騒がしいロシアの NA メンバーたちがわーっと寄ってきて、 あっというまに取り囲まれてしまったんだからな。 それでもこの訪問者たちはひるんだりせず、いさぎよくロシア流の歓待による「洗礼」を受けた。

その夜のメインミーティングでは、 参加地域の紹介とクリーンタイムのカウントダウンが行われた。 ロシア中からはもちろん、 カザフスタン、 イラン、 ブラジル、 アメリカ合衆国からもメンバーが参加していた。 クリーンタイムは２週間から 42 年までとさまざまだった。 モスクワとトゥーメン （ロシア、 中国、 北朝鮮にまたがる地域） から参加した４人の仲間が、経験と力と希望をわかちあってくれた。 会場は満員だった。 俺は、ブラジル出身のワールドボードのメンバーのとなりに座っていた。 ロシア語などわからないだろうに、 横でみていると、 にこにこしてうなずきながら話を聞いていた。 ロシア語がわからなくたって、 このメンバーには回復の言葉が通じていた。 俺たちは心と心でわかちあうんだ。 メインミーティングが終わると、ケメロボ （西シベリア南部の都市） から参加した仲間たちが、アディクトとして生きることをテーマにした歌詞によるラップミュージックのイブニングショーを行った。

フォーラムが始まってからも、 NA メンバーたちは続々と到着していた。 これほど多くの仲間たちが回復とサービスをわかちあうためにやってくるのを目の当たりにすると、 やる気がわいてきた。 なにしろ、 俺にはＰＩ （広報） に関するワークショップで大事な役目が控えていた。 トムスクエリアのＰＩ小委員会の議長として、 他のエリアやＮＡＷＳ （ＮＡワールドサービス） に自分たちの経験をわかちあうんだ。 なんたって、 俺たちは本当によくやったんだからな。 そして、 いざ発表となった。 俺はスライドをみせながら、 トムスクエリアのＰＩ （広報） 活動で達成すべき目標や方針と、 ＮＡの中だけにとどまらないトムスクエリア小委員会の活動方法をわかりやすく説明した。 同行した仲間たちも、 現在エリアで取り組んでいるプロジェクトについて、 自分たちの経験をわかちあうことができた。 ロシア以外の地域から参加したゲストたちが、 このワークショップに並々ならぬ関心を示してくれたことがうれしかった。 発表の終わりには、 俺たちが行っている活動について多くの質問と感謝の言葉があった。 これまでの経験では、 何とも例えようのない瞬間だった。 ＰＩ （広報） 活動への関心を高めることで、NA 全体の役に立ちたい、ＮＡのメッセージをしっかり伝えていきたいという気持ちになってもらえたかのだから、うれしくて励みになった。

> …and when I got back to my hometown, I shared their stories with my fellow members…

ＮＡＷＳ （ＮＡワールドサービス） の代表者たちは、 ゾーナルフォーラムの会議に参加してワークショップを主催した。その際には、回復やサービスのほかにも、ＮＡでやっていくなかで何か気になっていることはないかと出席者に尋ねた。みんな、 ミーティングで回復の雰囲気をかもしだすことから性的な関係 （実に気になる話題だからな） という個人的な経験にいたるまで、 思い当たることがいくつもあった。 そして、 ワールドボードのメンバーが２人、 それぞれの体験をわかちあうことによって、 アディクションと回復には国籍も言語もどんな壁も存在しないということをあらためて示してくれた。 この事実こそが、 俺たちをひとつにする。 こうしてひとつになることが、 ＮＡの強みなのだ。

このワークショップを終えるにあたり、今回のゲストたちはささやかな贈り物を配った。 文献、定期刊行物、キータグ、ピンバッジ、 ペンなど、 ちょっとしたものだ。 こんなイカした贈り物をもらってみんなが喜んだのなんのって、 その様子をお見せできないのが残念だ。 だれもがロシア以外の国や地域から訪れたゲストたちとの記念写真を撮りまくっていたから、 この週末にフォーラムに出席してゲストと写真に収まらなかったメンバーはひとりとしていないだろう。 なかには、 個人的に語をして経験を聞かせてもらおうとしていたメンバーもいた。

こうして参加者たちが屋外でも楽しく過ごし、 プレゼント交換をしたり写真を撮ったりしている間にも、 ゾーナルフォーラムの信頼されるしもべたちは会議室に詰めたまま、 ロシアのリージョンのために何かできることはないかと話し合っていた。それもこれも、 ロシアの街という街にＮＡのメッセージが運ばれるようにするためだ。 このようなメンバーたちとそのサービスには本当に頭が下がる。

その日の夜、 今回のゲストたちがそれぞれの経験と力と希望をわかちあってくれた。 実際には、 俺たちと一緒に座って何も話さずにいたってよかったし、 それだけでもう、 希望と信じる気持ちで俺たちの心は満たされただろう。 ゲストたちの話しは俺の心をゆさぶった。 俺は地元に帰ってから、 このイベントに出席する余裕がなかった仲間たちに自分が聞いた話をわかちあった。 メッセージを運び続けることに変わりはないが、 これまでとはちがう心構えになっていた。

俺たちは、 10 年、 30 年、 40 年以上のクリーンタイムをもつ仲間たちと出会い、 一緒に過ごせたことに感謝した。だから、 俺たちはシベリアでしっかり回復してるし、 零下 40℃でも人里離れた小さな街でＮＡメンバーがたった１人しかいなくても絶対に回復するんだと、 みなさんが地元に帰って会うメンバーというメンバーに伝えてほしいと、 お願いすることも忘れなかった。 これでようやく、 俺たちも立派な NA ファミリーとして知れわたることになるだろう。

デニス・Ｕ （ロシア ： シベリア・アンド・ファーイーストリージョン ； トムスクエリア）

わかちあい

わが心のアフガニスタン

アフガニスタンの NA

Ｓサラーム （イスラム教国での敬礼）。 私たちは 2012 年 10 月にアフガニスタンへと旅立ち、 しっかりと任務を果たして参りました！ このようなフェローシップ ディベロップメント （ＮＡの誕生や発展） に関わるサービスをすることができるのは、 ひとえに仲間のみなさんのおがげです。 今回のことが私という人間にもたらした効果は、 とてもじゃないが言葉などで言い表せるようなものではありません。 私は 20 才ぐらい若返った気がす ¬¬¬ るし、 一緒にサービスに関わっている仲間のジャベッドも実にハツラツとしています。 しかし、 なんといっても、 NA ワールドサービスとアジアパシフィックフォーラムのみなさんには心から感謝しています。 両者が協力してこのような旅のために資金や人材を提供するという考えが、 私の心をつかみ、 やる気にさせてくれたのです。

アフガニスタンの総人口は、 およそ 3500 万人。 人々は長年にわたって紛争地帯で暮らしてきた。 過去に繰り返された戦争の影響が国中に及んでいるのがはっきりと見てとれる。 そこへきて、アフガニスタンにはさらに長びく問題が麻薬への依存といったかたちで現れている。 政府関係者のひとりによれば、 アフガニスタンでアディクションに苦しむ人々の数は 150 万人にも上るということだった。 （なんと、 イラン政府も、 イランのアディクションについてまったく同じ数字を挙げている）

アフガニスタンでは、 イランで NA につながった 2 人のメンバーによって約 2 年半前に NA のミーティングが開かれるようになった。 2011 年には APF （アジアパシフィックフォーラム） によって、 イランからアフガニスタンに向かうフェローシップディベロップメントの旅が計画された。 その時点で、 アフガニスタンでは 2 つの街 （カブールとハラート） に約 180 人のメンバーがいた。 そのうち約 45 人のメンバーが、 その旅の間に行われたワークショップに出席した。 うれしいことに私たちが参加した 2012 年の旅では、 カブール、 ハラート、 マザリシャフ、 ガズニーンと、 今や 4 つの都市でミーティングが開かれて約 400 人のメンバーが出席しているとわかった。 この旅で私たちが開いたワークショップには 90 人ほどのメンバーが出席した。

私たちは現地に到着するとすぐ、アフガニスタンのホストコミティ （この旅の間にワークショップを主催するコミティ） と会談し、 私たちの最初のワークショップはこの 4 つの都市からメンバーたちを呼び集め、 それぞれに抱える課題や問題、 要望などを尋ねる場にしようと決めた。 ワークショップの初日には、私たちは 6 つの少人数によるグループに分かれ、 グループごとの課題についてあれこれと意見を出し合った。 参加者たちは 12 の問題点を見つけだし、 それから 3 日間に及ぶワークショップではこの 12 の問題点をもとに話し合いが行われた。 このように今回のワークショップは、 少人数のグループによる話し合い、 自由な意見提供、 スピーカーによるパネルディスカッション、 わかちあい、 質疑応答などを取り入れて行われた。 その際には、「地域社会 （周辺の住民、 家族、 家主など） に情報を提供すること」のほか、「ニューカマーサポート （新しいメンバーへの支援）」、「回復の雰囲気」、「専門家との PR （広報） 活動」、「NA の 12

の伝統」、「サービスにかかわることによる回復」、「信頼されるしもべたちを支援すること」、「NA のサービスシステム」、 そしていうまでもなく「NA の 12 のステップ （メンバーによるわかちあい）」など、 話し合うテーマには事欠かなかった。

最後には、涙で声をつまらせながら「平安の祈り」が全員で読みあげられ、 私たちのワークショップは終了した。

私たちの広報活動

このほか、 私たちはアフガニスタンにいられる時間をうまく使って NA に関する情報を提供し、 政府関係者や回復しようとしているアディクトの力になってくれる専門機関の代表者たちとの関係を築くことにした。

私たちはまず、 ワークショップが行われた会場の家主と会談した。 この人物は、有力な聖職者でもある。 ワークショップで H&I （病院施設） のパネルによる 12 ステップのわかちあいを最後まで聞いてくれたうえに、 同じ聖職者 3 人との昼食に私たちを招いてくれたのだ。 この席で NA のことを説明すると、 この 4 人の聖職者たちからは NA の 12 ステップとイスラム教のコーランとの間には矛盾がないことがわかるという意見が述べられた。

次に、 カブールにある国営のリハビリセンターのひとつを訪問し、 センターの運営者と会談したあとで入所者たちのためにＨ＆Ｉ （病院施設） パネルミーティングを開いた。

それから、 国連薬物犯罪事務局の職員３名と会談して、 ＮＡプログラムのこととＮＡが世界中に存在することを説明した。 この国連の事務局はアフガニスタン政府と良好な関係にあり、 全面的な支援と協力を約束してくれた。 そして、 国連薬物犯罪事務局とＮＡアフガニスタンＰＲ （広報） 小委員会のメンバーとの間で連絡の会合がもたれることが、 その場ですぐに決まった。 さらには、 現在、 国連薬物犯罪事務局の監督下にある６つのリハビリセンターでＮＡミーティングが開かれることになった。 その際には、 私たちの６番目の伝統が完全に尊重されるのは言うまでもないことだろう。

アフガニスタン滞在の最終日には帰りの飛行機に乗るちょうど３時間前に、 私たちはスーツケースを抱えたまま国営の精神病院に行き、 院長と会談をした。 影響力のある医師で公務員 （政府の役人） でもある。 この院長は、 ＮＡのことをよく知っていて私たちを温かく迎えてくれた。 私たちがお礼を述べると、 これからもできるかぎり地元のＮＡを応援することに異存はないと言ってくれた。

アフガニスタンから戻って以来、 私はものすごく変わった。 人生観にもＮＡプログラムに対する思いにも、 かつてない変化がみられた。 降伏、 サービス、 ハイヤーパワー、 希望、 愛などといった言葉が、自分にとってこれまで以上に深い意味をもつようになったのだ。 私は、 イランのＮＡで回復の道を歩みはじめたばかりのころから信頼されるしもべとなってきたし、 世界のさまざまな国や地域でのサービスに関わる機会も何度となくあった。 それでもなお、今回のアフガニスタンの旅からは学ぶことが多かった。 アフガニスタンはＮＡの回復のメッセージを待ち焦がれているし、 そういう国にＮＡプログラムが伝わったことは幸運である。

アフガニスタンのアディクトたちがＮＡという仲間の集まりに支援を要請したとき、私たちは今さらながらメッセージを運ぶことに使命感を覚えることになった。 それとともに、 ＮＡを世界中に広めるためには資金やアイデア、 人員など、 必要な手だてがなければどうにもならないのだと、 あらためて気づかされた。 今の私は、「私たちが力を合わせること」の意味を本当に理解している。 今回の旅が実現するまでには、さまざまな仲間たちが『伝統７』による献金を支え、 計画を立てて優先順位を決め、 ワークショップの準備をしてくれた。 そして、 アフガニスタンのアディクトたちもやる気を見せてくれた。 そういうことがあって、私たちは旅立つことができたのだ。 つまり、ＮＡ全体がひとつになってまさに「みんな」で取り組んだからこそ、 この旅が実現したのだ。

今回の旅には多額の資金を投じたわけではないが、 私たちが提供しうるものをおぎなってあまりあるほどの愛を実感した。ワークショップに充てられた会場はたいしたところではなかったし、コーヒーも最悪だった。それでも、 ワークショップには活力がみなぎり、 アフガニスタンのメンバーたちは必死に学ぼうとしていた。 それが私たちを鼓舞したのだ。 あの場で、 私は悟った。 無償の愛というのは、 神の意志を実行しているときに実感するものなのだ。 ワークショップで私が伝えた考えや話した言葉はどれひとつとして、 私のものではないようだった。 どこから生じてくるのか、 自分でもわからなかった。

ワークショップの会場からさほど遠くないところに「バーンド・ブリッジ」と呼ばれる地区があり、 使っているアディクトのたまり場となっている。 私たちはパンやタバコを差し入れて、 ＩＰ『フー・イズ・アン・アディクト』（インフォメーションパンフレット、『アディクトとは』） とミーティングリストを手渡した。 （ちなみに、 パンとタバコは私たちが自腹を切り、 パンフレットとミーティングリストは NA でまかなわれた）。 よそ者がうかつに近づけるような場所ではなかった。そのあたりにたむろしているアディクトたちはとても攻撃的で、 とくにクスリを使っているように見えない人間は容赦しない。 そういうことが私にはわかったし、 ここに集まっているアディクトたちに「昔の自分」をみることができた。 私はそこにいて共感の意味を知り、 アディクトたちがいつも正直な言葉に応じることを思い出させてもらった。 使っているアディクトたちに、 自分なりの経験と力と希望をメッセージにして伝えられることがなんともうれしかった。 私たちは手放すことによって、 自分が手にしたものを自分のものにするのだ。 ナルコティクスアノニマスのメンバーであることで、 私は本当に恵まれている。 こうして私たちはイランに帰国したのだが、 心はそのままアフガニスタンにとどまることになった。

マハムード・Ｃ （イラン／テヘラン）

（回復の） 旅

シンガポールにあるマンションの 19 階でくつろぎ、 一枚ガラスの大きな窓から外を眺める。 こうしていると、 自分がこの惑星で最も幸運な人間のような気がしてくる。 どこに住んでいるか、どんなに物質的に恵まれているか、 どれだけのものを勝ち取ったかではない。 自分が生きていることと自由であることで、 そう感じるのだ。 ナルコティクスアノニマスのおかげで、 わたしは夢でしかなかった人生を手にした。 もちろん、 ままならないこともあるからバラ色の人生ってわけではない。 心が折れそうなときも当然あるし、 あきらめてしまいたくなることだってないわけじゃない。それでも、 わたしには仲間たちと神がいることでモノの見方を変えてもらえるし、 どんな感情も折り合いがつくものだと気づかせてもらえる。 だからもう、 使わずにいられないなんてこともない。過去が生かせるようになった今、 人生はかけがえのない贈り物であり、 存分に味わいたいと思う。

わたしは 2000 年に、 サンフランシスコの湾岸地帯にあるＮＡグループにつながってクリーンになった。 もう最初から、 ナルコティクスアノニマスに首ったけ。仲間たちにも、プログラムにも、メッセージにもね。 そしてミーティングでは、 これから５年後に自分の人生がどうなっているか、 望むことや期待することを書かかされたという仲間の話を、 これまで何度となく耳にしてきた。 今だから言うけど、 わたしはつながったばかりのときにそんなこと想像できやしなかったわ。とにかくもう、娘たちが恥ずかしくてたまらないような母親ではありたくないってことか、 さもなければ、 自分のせいで母が心臓発作を起こすようなことは２度とあってほしくはないってことぐらいしか、 わからなかったもの。 もうこれ以上自分をおとしめたくな

かったし、
そしてなによ
り、 アディクションでぼろぼろになって死ぬのはイヤだった。 だけど、 NA で仲間たちと出会ったとき、 自分がいったい何に足を踏みだそうとしているのかなんて知りもしなかった。 NA によって自分がすっかり別人となり、 これまでとはちがう生き方ができるなんて思いもよらないことだったわ。

わたしがこれまで発見したことで一番すごいことのひとつは、 ＮＡで 12 のステップによって学んだことがどれもこれも隠れた意味をもっていて、 あとからいろいろと教えられるということだわ。 それは自分が回復していく段階でタマネギの皮をむくように次々と明らかにされていく。 学びたいと思えばいくらでも学べるのよ。 自己発見とスピリチュアリティにはこれでお終いということがないわけで、 わたしだってアディクトであるからにはとことん学んでみたいわ。

「失われた夢がよびさまされる」という話をはじめて聞いたときには、 そんなことってあるのかしらと思った。 わたしがかつて抱いた夢など、 心のどこかで行方しれずになっていたもの。 アディクションのせいで自分の内面を見つめる （恐ろしすぎる！） ことなどできなくなってしまったし。 だから、 夢なんか消えてなくなったと思っていたの。 でも、 クリーンタイム 30 日のキータグを手にするのも夢の実現で、 何かを信じられることや自分には目的があると希望を持てることだって夢の実現なのよ。 そういうことがわかったのは、 ずっと後になってからだった。

わたしは、 クリーンになって 18 ヵ月ぐらいして霧が晴れていったことを覚えている。 そのころには、 ＮＡで生きていくのがあたりまえになっていた。 ほかの仲間たちが人生を楽しむためにしていることを、 じっくり考えるようになったの。 わたしには責任感が芽生えつつあった。 親としてどうあるべきか、 どうやって仕事を続け、 請求書の支払いをし、 お金を貯めるかということを学んでいったわ。 そうしてＮＡで約束される自由、 つまり、 生きる自由というものを知るようになっていた。

ミーティングでちゃんと聞いていると、 いろいろなお知らせがあって、 あちこちでコンベンションが行われていることがわかった。 わたしも行ってみたいと思ったわ。 どうせなら旅をしようと、 プランを立てるようになった。 2002 年にデイトナビーチで開かれたＮＡフロリダリージョナルコンベンション （FRCNA） が、 わたしのコンベンション初体験。 これで、 わたしはすっかりはまった。 その年にアトランタで開かれたW CNA 29 （第 29 回ＮＡワールドコンベンション） では、 ワールドコンベンションも初体験した。 それ以来、次々と冒険にくりだした。 ただ１回だけ、 2009 年にバルセロナで開かれたワールドコンベンションだけは行き損ねた。 この年には、 コンベンションのために貯めていたお金をスポンサーのすすめで家の頭金にまわしたの。 スポンサーがいるって、 ありがたいものよね。

わたしはもっぱら、 ＮＡで仲良くなった仲間たちと旅をした。 グループができ、 そのうちのだれかが「遠征だ！」と一声かけるや、 いつでも、 どんなに遠くても、 みんなで出かけていった。 わたしはこれまでに、 フロリダにあるエリアというエリアのミーティングや回復を祝うイベントに出席した。 ジョージア、 ニューヨーク、 イリノイ、 メリーランド、 テキサス、 ルイジアナ、 カリフォルニア、 ネバダ、 ハワイ、 バハマ諸島でもミーティングに出席してきたし、 最近ではシンガポールのミーティングに出席するようになった。 グループで一緒に旅をした仲間たちのうち、 何人かはすでにもうこの世を去った。 クリーンで死んだ仲間もいれば、 使って死んだ仲間もいるし、 リラプスしてそのまま回復の道に戻ってこれなかった仲間もいる。 それでも、 何人かは今もミーティングで向かい合って座り、 次の旅について話し、 これまでの珍道中をネタに笑い合っている。 こういう仲間たちがいてくれるのは、 ほんとうにありがたい。 だって、 わたしたちは一緒に目的地まで移動するだけでなく、 回復という旅の道連れでもあるのだから。

それで、 かつてはなすすべもなくクスリに溺れていたわたしが、 どうして今こうしてシンガポールで暮らすようになったのか？ 宝くじに当たったわけじゃないないわ。 ご大層な仕事に就いたわけでも、 玉の輿に乗ったわけでもない。 つまり、 新しい人生が開けたということよ。 わたしにも自分なりに理解する神が見つかったし、 その神が教えてくれるの。 不可能なことは何もないってね。 だから、 わたしはどんなことがあろうと使ってないし、 人の役にも立っている。 そして、 スポンサーを信頼して自分のつとめを果たそうとしているわ。 こうして自分の頭ではとうてい考えつかない人生になっていることも、 神のはからいによるものだと信じている。 わたしが心から「願っている」ことも、 自分のためにならないものをわたしがときどき「ほしがっている」ことも、 神にはわかっている。「欲望」は頭から生まれ、「願望」は心から生まれるんだわ。 わたしがシンガポールにたどりついたのは、 だれかがここでわたしの助けを必要としているからよ。それは、わたしのパートナーかもしれないし、 まだ苦しんでいるアディクトかもしれない。 わたしには知るよしもないけれど、 神にはわかっているから、 それで十分だわ。 とりあえず、 わたしはミーティングに通い続けていよう。 そして、 新しい仲間がつながってきたら、 ナルコティクスアノニマスの手となり足となる。 そうやって初心に戻るんだわ。

ローラ・Ｇ （シンガポール）

ステップワークス テップが働く

あたしはこの３年半というもの、 ただひたすら『ナルコティクスアノニマスのステップワーキングガイド』に取り組んできた。 そのあいだ、 スポンサーとも定期的に会っていた。 そして先月、 やり終えたわ。 ステップ１の第１問「『アディクションという病気』は自分にとってどういう意味をもっているか？」から、 ステップ 12 の最後の質問「自分はどうやって感謝の気持ちを表しているか？」まで、『ナルコティクスアノニマスのステップワーキングガイド』にある質問に全部答えたってわけ。 今のあたしは、 2009 年の３月にＮＡのミーティング場にたどりついたときとはまったく別の人間になっていると言ってもよい。 あのときのあたしは、 絶望にうちひしがれ、 おどおどしてて、 自己嫌悪でいっぱいだった。 ミーティングのグループリーディングカード、『ナルコティクスアノニマスのプログラムとは？』にはこう書いてある。「ＮＡのプログラムは大変シンプルに書かれた一連の原理で、 私たちは日々の生活のなかでそれに従って生きている。 この原理が何よりも重要なのは、 実際に効果があるからだ」つまり、 シンプルで必ず効果がある原理なのよね。

あたしはステップワークにじっくり取り組むことで、 自分自身、 過去、 自分の価値、 恋愛関係、 信仰心をみつめていくのがイヤになることもあった。 それでも、 ひとつひとつステップを進めていき、 次のステップに進むまでに自分がやり終えたことを振り返ると、 いろんな変化が生じているのがわかった。 それでこのまま進んでいけばいいのだという気持ちになれた。 そして、 ミーティングでほかの仲間たちがわかちあい、 ステップによってどれほどうまく生きられるようになっているかという話を聞いていると、 12 のステップによるプログラムにはハイヤーパワーが働いていることがわかった。

あたしは、 今の自分をいいなと思う。 人の視線もちゃんと受けとめられる。 恐怖や孤独を感じたりするどころか、 電話して頼れる仲間がいる。 ステップがあるから迷うこともない。 それに、 あたしの人生には自分より偉大な力がついている。 12 のステップ、 仲間意識、 愛、 世界中に仲間がいること、 まごころ、 そしてこの偉大な力を信じてゆだねようとする気持ち。 これ以上に安心できることってないわ。 だから、 なにがなんでも思い通りにしようとして （たていは失敗する） ことや、 自分が世界の中心でなければならないこともない。 その代わりに、 12 のステップによって手放すことや成り行きにまかせること、 役に立とうとすること、 感謝しても感謝しきれない気持ちを行動によって示していくことを学んだの。

ミーティングで使うグループリーディングカードの『どのように効果があるか』には、 こう書いてある。「もしあなたが、 私たちに提供できるものをほしいと思い、 それを手に入れるための努力をする気持ちになったのなら、 あなたはすでにいくつかのステップへの準備ができた。 以下に、

私たちの回復を可能にした原理を示す」。 あたしは、 これをメッセージとして深く心に刻んだの。 12 のステップのおかげと、 スポンサーが信じられないような指導と献身もあって、 あたしはアディクションのとらわれからの自由を知るようになった。 それこそが、 このプログラムによってもたらされるものでしょ。 あたしはこれからも、 日々の生活のなかで 12 のステップを実行していく。 あらゆることにＮＡの原理を実践しながらね。

トレーシー・Ｉ （カナダ／オンタリオ）

グループ紹介

NA Way では、 世界中の NA からミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしている。 ただし、 集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮いただきたい。 なお、 写真には、 グループやイベントの名称、 所在地および国名はもちろん、 グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、 ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、 そして「ウチのグループやイベントならではのこと」など、 グループやイベントの紹介文を添えていただくようにお願いする。

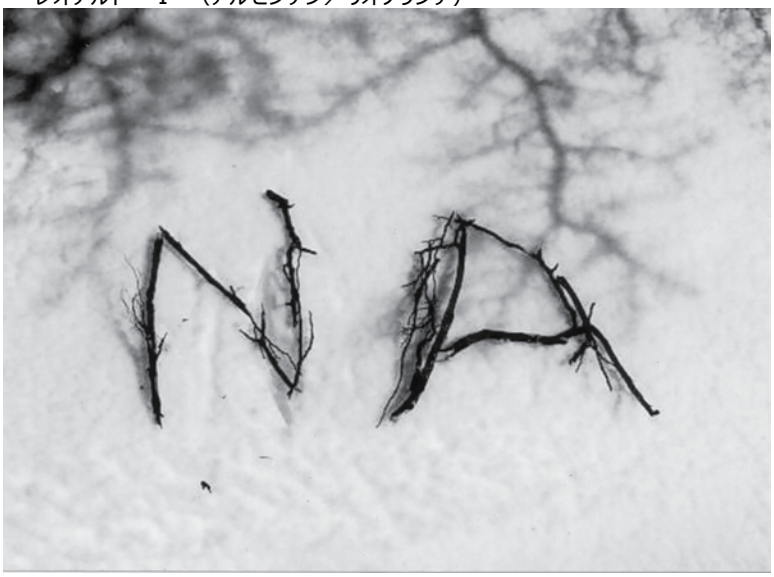
シガモス ヴィヴィエンド（生きていこう！）

ぼくたち「「シガモス ヴィヴィエンド グループ」は、 2012 年の 8 月 28 日にリオグランデという街で初めてのナルコティクス アノニマスのミーティングを開いた。リオグランデといっても、アルゼンチンのティエラ・デル・フエゴ州 （アルゼンチンとチリにまたがる群島） にある街だから、 この「シガモス ヴィヴィエンド グループ」は世界最南のグループということになるんじゃないかな。 ぼくたちがこうしてミーティングを開けたのは、 ハイヤーパワーのおかげだし、 仲間たちやいろんなグループの支援があってのことだ。 ホセ・レオンスアレスという街の「アモー・イ・コンプレシオン （愛と共感） グループ」や、パロマールという街の「ウルリンガム・グループ」、そして「カステラー・グループ」など、 あちこちの街で孤軍奮闘しているグループの仲間たちとアルゼンチンリージョンのオフィスのみなさん、 どうもありがとう！

この「シガモス・ヴィヴィエンド・グループ」は、 ベルグラノ通り 319 にあるヤガネーズという文化センターでミーティングを開いている。 毎週、 火曜と木曜の夜 6 時になると仲間たちが集まってくるんだ。最初は、ミーティングに出席するメンバーはひとりだけだった。それでもっぱら電話でわかちあいをしていたんだが、この電話という道具がなかなか重要な役目を果たし、他のメンバーがつながるようになった。 それからみんなで協力して公共の場所でチラシを配ったり、 地元の新聞にミーティングの案内を掲載したりした。 ひとりのメンバーはパントマイムの役者よろしく、顔を白塗りにしてコスチュームをまとうということまでしてくれた。 そうやってアノニミティを守ったから、 ひと目のある場所でもチラシを配ることができたんだ。 そして、 別のメンバーのお母さんは、 ぼくたちがオープン形式でミーティングを行う火曜には何かと力になってくれるので、本当にありがたい。 そうやって、 ぼくたちがシガモス・ヴィヴィエンド・グループをつくるために尽くしてくれたみなさんに、心から感謝している。 みんなでやればこんなことができるんだし、それもやっぱりＮＡの伝統と概念を大事にするからうまくいくことなんだよね。

いつか、 みなさんがこんな南の果てにたどりついたとしても、 ＮＡのグループがあるんだ。 ぼくたちは心から歓迎するよ。 じゃあ、 元気に「今日だけ」を生きていこう。

レオナルド・Ｉ （アルゼンチン／リオグランデ）



リオグランデは
その緯度 （南極大陸から 600 マイルほどのところにある） ゆえに、
年間を通してかなり冷え込む。
最も気温の高い月 （1 月と 2 月） でも平均気温は 11℃ぐらいだ。
一年中霜が降りることがあり、 夏は曇りがちで強風が吹きつけ、
真夏でも季節外れの雪が舞うことがある。

WCNA 35では、数々の奇跡が起きているNAの60周年を祝おう！

www.na.org でインターネットによる参加登録受付中

WCNA 35 celebrates the 60th anniversary of miracles happening in NA! For the first time along our journey, we will gather in Philadelphia, the City of Brotherly Love. Many of you already know that Philly is a great city whose unique characteristics will help us create a special and unique world convention. This will also be the last world convention in the US until 2018. We hope you will join us for this special celebration of our recovery, diversity, and unity!

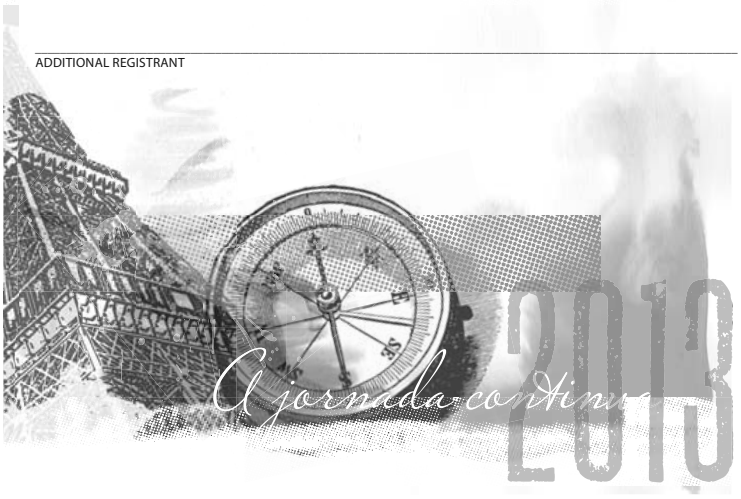
FIRST NAME _____ LAST NAME _____

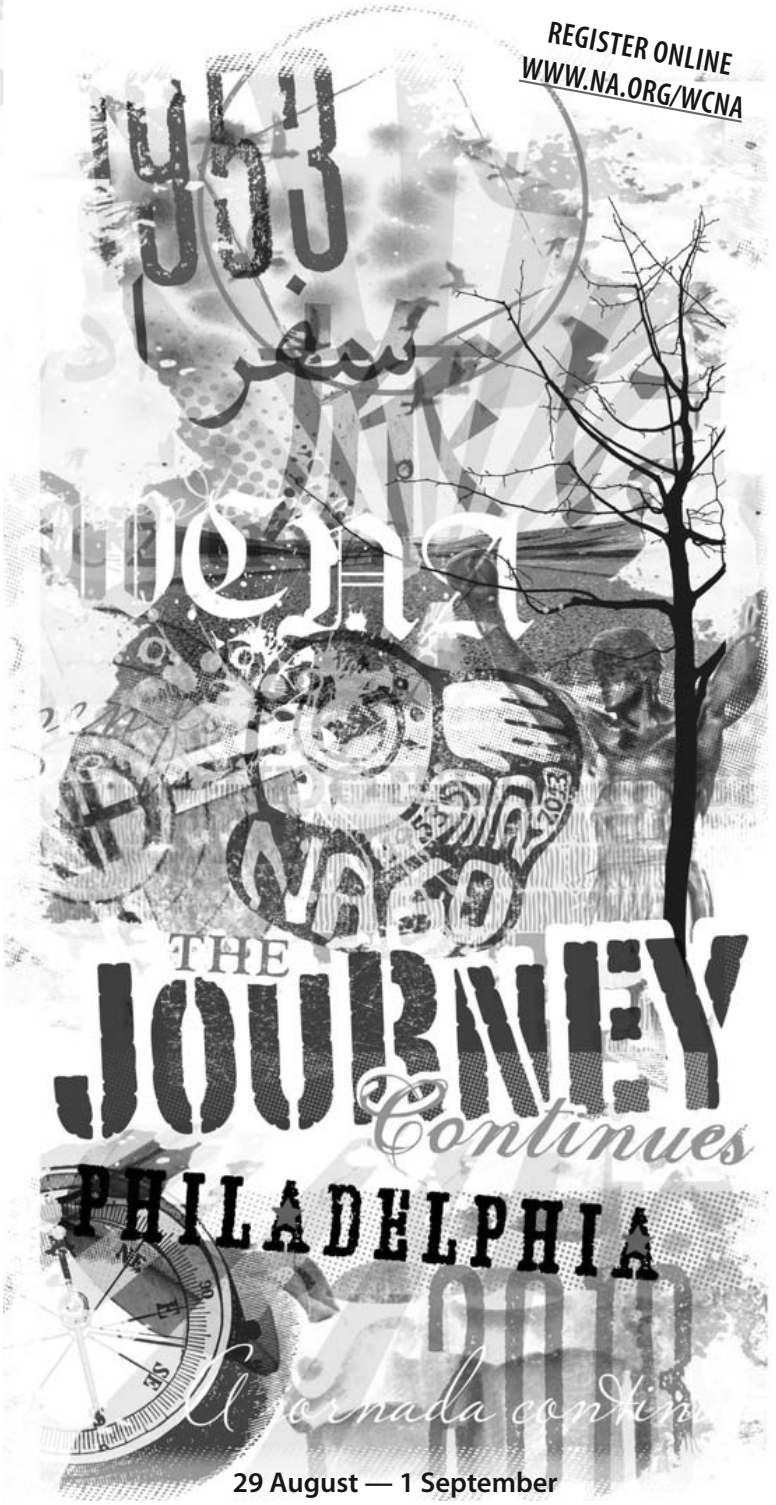
ADDRESS _____

CITY _____ PROVINCE/STATE/COUNTRY _____ ZIP/POSTAL CODE _____

EMAIL ADDRESS _____ TELEPHONE _____

ADDITIONAL REGISTRANT _____





<超早割>早期登録割引き

2013年1月31日締め切り

Part 1—Registration

	QTY	PRICE	TOTAL
Early Bird *Ends 31 January 2013*	_____	**@$79 = $**	_____
Pre-registration *Ends 31 July 2013*	_____	**@$89 = $**	_____

Onsite *limited* registration will be $99

Total Part 1 $_____

Part 2—Merchandise

No quantity limits prior to April 2013 when we place our merchandise order. Limited quantities and sizes will be available after that date, so please order early!

Special Coffee Mug _____ **@$15 = $** _____
Limited edition, uniquely designed mug celebrating The Journey Continues

Embroidered T-Shirt _____ **@$20 = $** _____
MEN'S ⌴ *S* ⌴ *M* ⌴ *L* ⌴ *XL* ⌴ *XXL* ⌴ *XXXL*
WOMEN'S ⌴ *S* ⌴ *M* ⌴ *L* ⌴ *XL* ⌴ *XXL*

Screen Printed T-Shirt _____ **@$18 = $** _____
MEN'S ⌴ *S* ⌴ *M* ⌴ *L* ⌴ *XL* ⌴ *XXL* ⌴ *XXXL*
WOMEN'S ⌴ *S* ⌴ *M* ⌴ *L* ⌴ *XL* ⌴ *XXL*

Total Part 2 $_____

Part 3—Convention Events (limited quantities available)

For the first time, we are pre-assigning seats for all paid events in the convention center. All seats will be assigned by the date of pre-registration (rather than the date you purchase the tickets). *If you want to sit with friends, you will need to either purchase a table for the food events or purchase tickets on one registration. Otherwise, you will be seated with friends you just haven't met yet!*

Blues Luncheon (Thursday) _____ **@ $45 = $**_____
Assigned table for 10 at Blues Luncheon _____ **@$450 = $**_____
Of the Blues tickets purchased, how many are Vegetarian?____

Comedy Show (Friday) *(potentially offensive material)* _____ **@ $35 = $**_____

Jazz Brunch (Friday) _____ **@ $45 = $**_____
Assigned table for 10 at Jazz Brunch _____ **@$450 = $**_____
Of the Jazz tickets purchased, how many are Vegetarian?____

Banquet (Saturday Night) _____ **@ $50 = $**_____
Assigned table(s) of 10 at Banquet _____ **@$500 = $**_____
Of the Banquet tickets purchased, how many are Vegetarian?____

Concert (Saturday Night) _____ **@ $65 = $**_____

Newcomer Donation **$** ____

Total Part 3 $_____

The Philadelphia Convention & Visitors Bureau has been a great planning partner for this event. Look for useful and interesting information about Philadelphia on their website: **www.discoverPHL.com/WCNA35.**

Part 4—Method and Amount of Payment

Part 1 $_____ **+ Part 2 $**_____ **+ Part 3 $**_____

= Grand Total $_____

METHOD OF PAYMENT IN US DOLLARS (CHECK ONE)

❑ CHECK/MONEY ORDER ❑ AMEX ❑ VISA ❑ MASTER CARD ❑ DISCOVER ❑ DINERS CLUB

CREDIT CARD NUMBER _____ EXP. DATE _____ SECURITY CODE _____

CARDHOLDER NAME _____ SIGNATURE _____

WCNA reserves the right to refuse or limit any purchase.

Absolutely no cancellations, exchanges, or refunds after 15 April for merchandise, or 31 July for registration or events.

Make checks/money orders payable to ***WCNA 35*** *and mail to:*
WCNA 35, c/o NAWS, PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409, USA.

Fax credit card registration to ***+1/818.700.0700.*** *For more information call* ***+1/818.773.9999 ext. 771.***

WCNA begins Thursday morning and ends by approximately 2:00 pm on Sunday.

NA World Services, Inc. is not affiliated with any hotel, reservation center, or travel agency listed. We simply enter into contractual agreements in order to provide members with discount pricing.

Pre & Post Events

For WCNA 35, we have two different types of pre- & post-convention events for you to consider and enjoy.

Pre-Convention Cruise
Cruise the warm, crystal-clear blue waters of the Caribbean aboard *The Carnival Splendor* on a spectacular Adventure of the Seas! Doze under a palm tree, stroll endless white-sand beaches, and explore exciting ports of call. While sailing, discover how relaxing and just plain fun a week in paradise can be with on-board swimming, spa, casino and shows—or bask in the glow of doing nothing. The choices are yours!

The cruise departs from New York City 21 August and returns 29 August early morning. Buses will transport WCNA attendees from New York to Philadelphia for the convention. Ports of call include New York; San Juan, Puerto Rico; St. Thomas, US Virgin Islands; and Grand Turk, Turks and Caicos Islands. Friends and family are welcome, but space is limited, so don't wait to book your cruise! For more information about this cruise or other travel needs visit **www.montrosetravel.com/wcna** or call **Montrose Travel at +1/800.301.9673.**

Excursions around Philadelphia
We are working with a company that offers a variety of day trips. The company has many offerings which you can find on their webpage created especially for WCNA 35 attendees: **https://www.phillytour.com/local-sightseeing-tours/p48**. In order to keep the cost as low as possible, you can book these excursions directly with them.

2013年1月31日までに、
参加登録と次ページに案内するホテルの予約をした方の中から、
抽選で3名様に［1泊無料券］があたります。

HOTEL RESERVATION FORM

As an encouragement to those of you who register and book rooms in our room block by 31 January 2013, we will hold a drawing for three free, three-night stays.

While we realize many people book rooms on their own, **you really help the convention** when you book rooms in our room block. Rates may not be available after **25 July 2013. Online reservations generate immediate confirmation.** Mailed/faxed reservations receive confirmation within 15-30 days.

Part 1—Contact Information

FIRST NAME _____ LAST NAME _____

ADDRESS _____

CITY _____ PROVINCE/STATE/COUNTRY _____ ZIP/POSTAL CODE _____

EMAIL ADDRESS _____ TELEPHONE _____

ADDITIONAL GUESTS _____

Part 2—Room Reservations

Please help us plan the best WCNA 35 possible by booking your room in our room block! Rooms are assigned when form is received. If first choice is not available, next choice is assigned. ***Rooms will be added as space is needed. Please check www.na.org/wcna for the most current information. IF MORE THAN ONE ROOM IS REQUIRED, PLEASE PHOTOCOPY THIS FORM.***

1ST HOTEL CHOICE _____ 2ND HOTEL CHOICE _____ 3RD HOTEL CHOICE _____

ARRIVAL DATE _____ DEPARTURE DATE _____

SPECIAL REQUEST *(BASED ON AVAILABILITY)* ❑ SMOKING ROOM ❑ ADA EQUIPPED

ROOM TYPE ❑ (SINGLE) 1 BED / 1 OR 2 PERSONS ❑ (DOUBLE) 2 BEDS / 2 PERSONS ❑ (TRIPLE) 2 BEDS / 3 PERSONS ❑ (QUAD) 2 BEDS / 4 PERSONS

❑ *If my room type is sold out, place me in a single-bedded room to keep me in one of my choice hotels.*

Part 3—Deposit

$200 cash/check deposit or credit card guarantee is required for each room and is charged at the time of cancellation or 30 days before the event. Any reservation cancelled at any time after the reservation is made will incur a cancellation fee (deducted from cash/check deposits or charged to the credit card used to hold the reservation), based on the following schedule:

- ★ ***Hotel reservation cancellations made on or before 1 August 2013 will be assessed a $50 cancellation fee.***
- ★ ***Hotel reservation cancellations made after 1 August 2013 will be assessed a $200 cancellation fee.***

My signature confirms my reservation requests and that I have read and understand this policy.

SIGNATURE _____

METHOD OF PAYMENT IN US DOLLARS (CHECK ONE)
❑ CHECK/MONEY ORDER ❑ AMEX ❑ VISA ❑ MASTER CARD ❑ DISCOVER ❑ DINERS CLUB

CREDIT CARD NUMBER _____ EXP. DATE _____ SECURITY CODE _____

CARDHOLDER NAME _____ SIGNATURE _____

Make checks/money orders payable to and mail to: ***WCNA/Conference Direct***
5600 Seventy Seven Center Drive, Suite 240, Charlotte, NC 28217 Or fax registration form to +1/704.927.1439
Or make your reservation online at **https://resweb.passkey.com/go/WCNA35Attendee**

WHY PRE-REGISTER

Or maybe you are asking, why register at all? We have been forced to move to a registration-required event because of the amount of fellowship funds that have been spent and risked to accommodate those who choose not to register. An event held in a convention center or dome has much different costs than an event in a hotel.

We have moved the price of registration closer to what it actually costs to hold this event, but unfortunately, we are not there yet. Special events and merchandise help to make up the difference. For those who choose to help us in our planning and can register before 31 January, we will offer a $20 discount from the onsite price. There is a $10 discount for those who pre-register from February through July. The number of onsite registrations available will depend on our available space. As always, we will have a limited number of registrations for those in their first 30 days.

Please help us plan this event by pre-registering when you are able. **Pre-registration determines your seating at ticketed events. Pre-registration also affords you access to the onsite merchandise store on Thursday,** while those who register onsite are not allowed access to the merchandise store until Friday.

Registration also gives you access to dances each night, "coffee houses" with live entertainment, and all other non-ticketed convention activities.

We will have children's badges available free of charge for those aged 13 or under, and accompanied by an adult. A non-registered person attending a ticketed event will be provided access to the building for their ticketed event. The Nar-Anon convention, which will be held in the convention center during our event, has its own separate registration. The Nar-Anon registration provides access to the building and to meetings, but WCNA registration badge is required for access to all other non-ticketed events or activities.

ホテルに関する情報は随時変更される可能性があります。
www.na.org/WCNA で、最新情報をご確認ください。

HOTEL OPTIONS

The numbers listed coincide with the hotel map. All prices are listed per night for single/double reservations. Please visit **www.na.org/wcna** for more information.

1 Philadelphia Marriott Downtown—$167
Situated in the heart of Center City, and the host hotel for WCNA 35, the Philadelphia Marriott Downtown commands a towering presence on the city's skyline. The hotel is conveniently connected to the PACC via sky bridge. Dances and meetings will be held in this hotel.

2 Hilton Garden Inn Philadelphia Center City—$134
Located within Gallery Mall, home to 100+ stores and restaurants, and within walking distance of Independence Hall, and other historic sites. Only a block away from the regional rail and subway station linking directly to PHL and Amtrak. Just across 11th Street from the PACC.

3 Philadelphia Downtown Courtyard by Marriott—$140
This historic hotel is located in the heart of the business district across from City Hall and is one short block away from the PACC.

4 Hampton Inn Center City—$149
Located adjacent to the PACC, making it one of the hotels closest to WCNA 35, the Hampton Inn offers all the traditional amenities, along with special touches only found in an urban downtown setting.

5 Le Meridien—$167
A 4-minute walk from the PACC and located across from City Hall, Le Meridian is a stylish hotel with a 4-star rating, and is also just steps away from Love Park and several entertainment, cultural, and arts venues.

6 Loews Philadelphia Hotel—$159
This 4-diamond hotel is located in the heart of the city, and a 4-minute walk from the PACC. Along with other amenities, Loews hosts an indoor lap pool and full-service spa.

7 Holiday Inn Express Philadelphia-Midtown—$149
Within walking distance to a variety of restaurants and high-end shops located on Walnut Street where clothing sales are tax-free! A 2-minute walk to the Reading Terminal Market, and a 10-minute walk from the PACC.

8 Sheraton Philadelphia Downtown Hotel—$149
Located just two blocks and a 4-minute walk from the PACC, guests enjoy the convenient location that puts many of Philadelphia's sights within easy walking distance.

9 Embassy Suites Hotel Center City—$140
A 10-minute walk from the PACC, and an 8-minute drive from Philadelphia International Airport. Amenities include two-room suites, sofa sleeper, and complimentary breakfast.

10 Four Seasons Hotel Philadelphia—$289
This 5-star hotel, with historic landmarks within walking distance, scenic views of Logan Square, and tranquil luxury, is a 10-minute walk from the PACC.

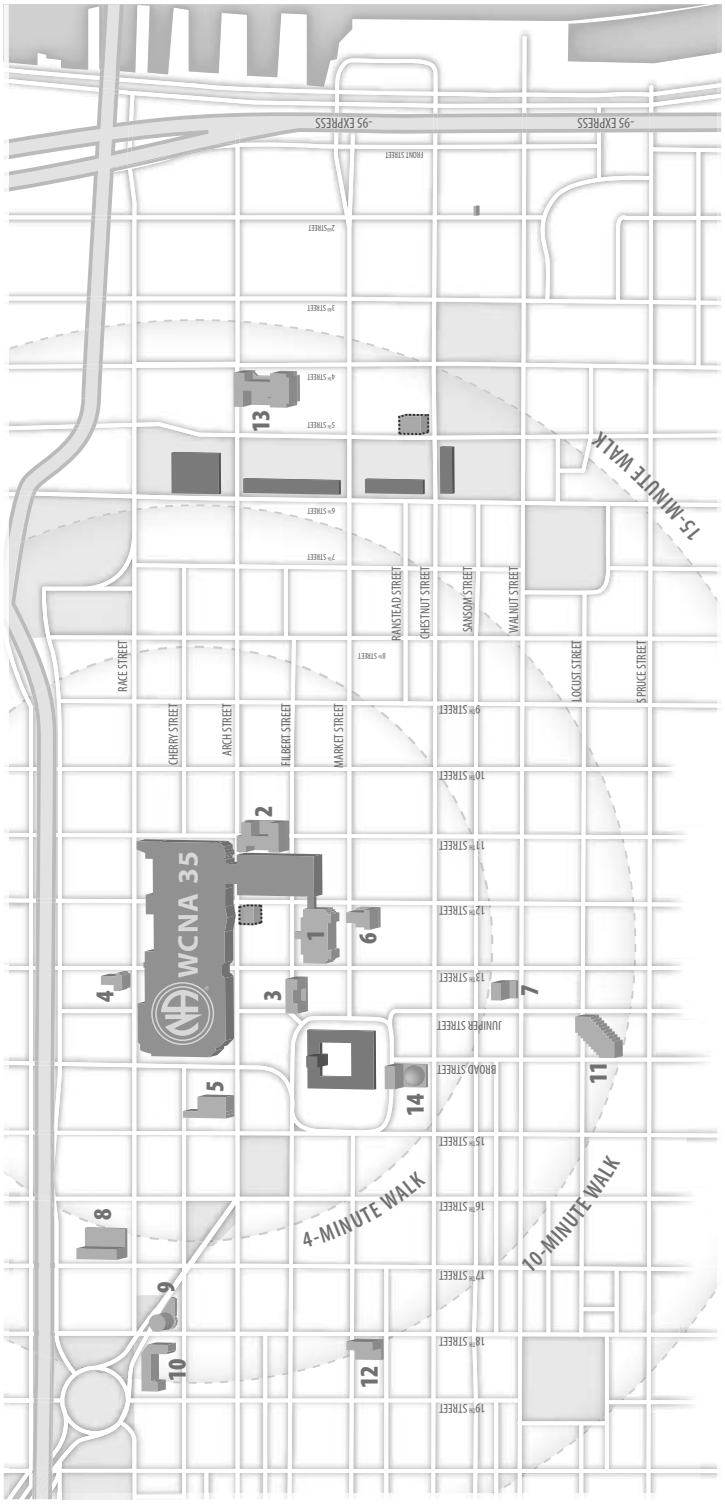
11 DoubleTree Center City—$152
Centrally located on the Avenue of the Arts, 9 miles from Philadelphia International Airport. Enjoy views of the Delaware River and downtown Philadelphia, and is a 10-minute walk from the PACC.

12 Sonesta Hotel Philadelphia—$142
Located near Rittenhouse Square, in Center City, this hotel in the business district is near many popular Philadelphia attractions, and is a 15-minute walk to the PACC.

13 Holiday Inn Historic District—$145
A 15-minute walk from the PACC, this recently refurbished property is also a short walk to many of Philadelphia's historic attractions.

14 The Ritz Carlton—$189
This spectacular marble replica of Rome's Pantheon is near City Hall and the business district. This landmark hotel exudes the past's gracious ambiance while pampering guests in modern luxury.

Hotel options may change at any time. For up-to-date list please visit www.na.org/wcna



ロシアの NA

第 28 回ＮＡヨーロピアンコンベンション アンド カンファレンス （EC-CNA 28） は、 2012 年 8 月 17 日～ 19 日にモスクワの NA によって主催された。 その 2 年前である 2010 年に、 ロシアの NA は 20 周年を迎えたのだ。 ここまで成長できたことに感謝しつつ、 NA Way マガジンに私たちの歩みをお伝しよう。

ロシアではじめて NA ミーティングが開かれたのは、1990 年、サンクト・ペテルブルグでのことだった。 それからも 2 年ぐらいの間は、 NA メンバーたちが AA （アルコホーリクス アノニマス） に通っていた。 このころに数人のアディクトで NA グループができたものの、 結局はひとり残らずリラプスしてしまったという話しが今も i 語りぐさになっている。 しかし、 1992 年になると状況が変わりはじめた。 この年の春、 アメリカ合衆国の NA からメンバーが 2 人、 モスクワにやってきた。 当時の私たちは、 アディクションが病気で NA には回復があると言われても、 まったくわけがわからないでいた。 そこへいきなり、 ナルコティクス アノニマスで「本当に回復している」メンバーを 2 人もこの目で見るチャンスが訪れたのだ。 1 人は別世界からやって来たように見えた。 25 年もクリーンでいるなんて！ だがそれよりも、 この 2 人が喜んで手助けしてくれたことで、私たちがはじめて「本物の」NA ミーティングを開けるようになったことの方がずっと重要だった。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

モスクワではじめての NA ミーティングが開かれたのは、 1992 年の 4 月 29 日。場所は薬物依存症者のリハビリセンターだった。アメリカからやって来た 2 人の女性メンバーは、 ロシアを離れる日までこのミーティングに毎回出席してくれた。 だが、 この 2 人が帰国してから、 モスクワに誕生したグループは苦労することになった。 ミーティングに通ってくるアディクトがたったの 2 人ということもあったが、 そういうときにはアメリカのメンバーたちが教えてくれたことを思い出した。 アディクトが 2 人集まってわかちあえばミーティングになるんだ。 そうやって信じる気持ちを失わずにいたから、 グループは生き残れたのだ。

モスクワのメンバー

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

ロシアでは、 モスクワとサンクト・ペテルブルグに NA が誕生した。 しかし 8 年ぐらいの間、 両者の間には真のコミュニケーションが存在しなかった。 このころには、 どちらの都市でもかなりの数のミーティングが開かれていたが、 サービス機構は誕生してはいなかった。 そこで、 2000 年に第 1 回のビジネスミーティングが開かれて「NA グループのサービスとは、 どういうものか？」と突き詰めて考えることになり、 それが『ナルコティクス アノニマスにおける地域サービスの手引き』のロシア語版の作成につながった。 このサービスマニュアルが翻訳されたおかげで、 私たちは NA のサービス機構を支える重要な要素というものを理解できるようになったのだ。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

2002 年にはワークグループができて、 RSC （リージョナルサービスコミティ） の設立を任された。 そもそものはじまりは、 イタリアで開かれた ECCNA （ＮＡヨーロピアンコンベンション アンド カンファレンス） だ。 俺は、 サンクト・ペテルブルグの文献コミティ （委員会） から派遣され、 ECCNA の開催期間中は EDM （ヨーロピアンデリゲートミーティング） にでずっぱりだった。 その結果、 ロシアでは通りを歩く回復中のアディクトが熊と同じぐらい珍しい存在ではなくなっていることが、 EDM でわかってもらえた。 ただし、 EDM の一員になるためには、 ロシアの NA が RSC をもたなければならないということだった。 そして 2002 年の 11 月にはサンクト・ペテルブルグで、 フェローシップディベロップメントとサービスに関するワークショップが EDM によって主催された。 だが、 RSC を設けるといっても、 もともとは EDM の一員になりたい一心で思いたったことだ。 RSC が一体どういうものなのか、 なぜ必要なのかなんて、 この時点では誰もわかっちゃいなかった。 ロシアの NA は、 ヨーロッパにある NA の仲間入りをしたかっただけなのだ。

サンクト・ペテルブルグのメンバー

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

私たちは、 2003 年の 4 月にロシアで初めてのリージョナルサービスコミティとなるウェスタンロシア RSC を設立した。 そして、 フェローシップディベロップメントにかかわる小委員会を立ち上げ、ロシア全土でいつくものワークショップを開くようになったのだ。 これによってカリーニングラード （ロシアの西端） からウラジオストック （ロシアの東端）、 バレンツ海 （北極海の一部） からオホーツク海 （太平洋の一部） にいたるまで次々と NA が誕生していき、 さらにはベラルーシ、 ウクライナをはじめとして旧ソ連の共和国もゲストメンバーとして加わったことで、 ロシアの NA は地域的な広がりをみせた。 このため、 RSC のメンバーたちは会議に出席するために何千マイルもの距離をひっきりなしに移動するはめになってしまったが、 私たちの成長とともに、2008 年にシベリア アンド ファーイースト RSC が設立され、それにつづいて 2010 年にウラル RSC が設立された。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

ロシアの NA に RSC がいくつかできれば、 ゾーナルフォーラムという形でひとつにまとまるだろう。 このような考えは、 WRRSC （ウェスタンロシアリージョナルコミティ） が誕生した時点ですでに私たちの頭にあった。 そして 2010 年には、 ロシアの NA がサンクト・ペテルブルグで 20 周年を祝うとともに、 この考えが現実のものとなった。 ロシアンゾーナルフォーラムが誕生したのだ。 これでもう、 ロシアの RSC はバラバラに活動することはない。 遠く離れた地域も支援できる。 私たちはウェスタンロシアの経験をわかちあい、 それぞれの地域で必要としていることに対して何が最善であるかを、 メンバーたちが判断できるようにしている。 これは、 各地の RSC だけでなくロシアの NA 全体の発展が必要であることがよく理解されているからにほかならない。

ピチャゴルスクのメンバー

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

2012 年の 8 月 17 日～ 19 日には、 ECCNA 28 （第 28 回 NA ヨーロピアンカンファレンスアンドコンベンション） がモスクワで開かれた。 これはロシアの NA にとって回復を祝う初の国際的なイベントとなった。 そしてこの ECCNA 開催中には、モスクワの NA でも 20 周年を祝うことになった。 私たちはコンベンションにあやかって、 メインスピーカーミーティング、 マラソンミーティングやトピックミーティング、NA のサービスシステムに関するワークショップ、 新しいメンバーたちへの説明会などを行った。

私たちは、 コンサート、 ディスコ、 ピクニック、 コンテスト、 子供の楽しめるイベントなどが盛りだくさんのプログラムを用意して、 素晴らしい時間を過ごした。 世界中から集まった何千もの回復しつつあるアディクトたちを目の当たりにしたのだ。 このイベントの準備には、 およそ 2 年かかった。 このようなプロジェクトを引き受けるのは大それたことではあったが、 ロシアの NA はあえて挑戦し、 みごとに成功させたのだ。 ECCNA によってロシアの NA 全体が勢いづき、 元気になった。 今回の経験で、 ロシアの NA の一体感や仲間意識、 そして役に立とうとする意欲はかつてないほどの強まりをみせた。 みんながひとつになって取り組めば、 大きな成果がもたらされる。 それがわかったことが、 何にもかえがたいことなのだ。

NA ワールドサービスの記録によると、 1998 年にロシアの NA には 12 グループあって、 毎週 25 のミーティングが開かれていたとある。 200 年には 23 グループとなり、毎週 85 のミーティングが開かれるようになった。 それが、2005 年になると、ロシア全土で 40 グループが毎週 199 のミーティングが開くまでになった。 たった 5 年で、ロシアの NA は 2 倍になったのだ。 その後の 6 年では、 毎週開かれるミーティングの数は 4 倍になった。 ロシア式の「おおざっぱな」資料によれば、 今日だけにかぎっても、ロシアゾーンには 263 のグループがあり、 毎週 716 のミーティングが開かれている。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー

2012 年 8 月の ECCNA 28 に向けて、 わたしたちは世界中の NA ファミリーをモスクワに迎えるのを楽しみにしていました。 これで、ミーティング会場でも、 路上でも、 このサンクト・ペテルブルグという古い街の広場でも、 クリーンで生きる喜びをわかちあえるのですからね。 わたしたちは十分に成長して、 しっかりしてきました。 モスクワには、 自分たちが生きてきた年数の半分近くをクリーンでいるメンバーが何人もいます。 ただ、 わたしたちはまだまだ幼いのでしょう。 声をからして議論をし、 歩み寄れずに恨み辛みをつのらせもします。 でも、 そんなわたしたちの笑い声にはくったくがなく、「アディクトだからといって、 アディクションでぼろぼろになって死ぬことはないんだ」と歌い上げるかのように、 モスクワの空に響きわたるのです。

モスクワのメンバー

知ってた？

実は、・・・ ECCNA 28 （第 28 回 NA ヨーロピアン カンファレンス アンド コンベンション） は、「ドルジバ」として知られる多目的スポーツアリーナで開かれた。「ドルジバ」は「友情」という意味なのだ。

実は、・・・「ドルジバ」はモスクワ・リバーのほとりにあり、クレムリンから南に 6 キロ （3．7 マイル） も離れていない。 ウェスタンロシアコンベンションコミティのメンバー 2 人は、 8 分で到着した。 これは「ドルジバ」の最寄りにある地下鉄ヴォロビョビゴリ駅から、徒歩 7 秒ということになる。 2 人とも相当な早足だ。 もちろん、当日に雨が降っていたということもあるだろう。

実は、・・・ ロシア国外からやってくるメンバーたちと連絡を取るために、 ECCNA では新たに役割が 2 つ設けられた。ゲストの宿泊設備コーディネーターは、 巡回するワークショップの会場を選定し、 メインスピーカーたちが無料で泊まれるように地元のメンバー約 50 人のアパートを手配した。 ビザコーディネーターは、「ロシア人にしかわからない」事情や税関業務などの解説書を用意してビザの手続きを整えた。

実は、・・・ ロシアには古くから木の食器や家具に描かれる装飾模様があり、「コーコーマ」と呼ばれている。 ECCNA 28 のロゴは、 この「コーコーマ」風にデザインされたものだ。「コーコーマ」は伝統的に赤を背景にして黒と金で描かれるが、 ECCNA 28 のデザインでは NA の伝統であるブルーと白が使われている。

実は、・・・ ECCNA 28 のテーマである「恐れることは何もない」は、 15 種類のスローガンのなかから選ばれた。

実は、・・・ ECCNA 28 の出席者のうち、 40%がロシアのメンバーであり、 40%がヨーロッパ諸国からのメンバー、20%が世界のさまざまな国や地域からのメンバーであった。

サービスシステムプロジェクト最新情報

このサービスシステムプロジェクトは、 地域サービスを向上させる方法を細大もらさず検討することで、 サービス提供における長期的な課題に取り組むために立ち上げられた。 2 年ごとのワールドサービスカンファレンスで議題となるのは、 これが 3 回目である。 今回のカンファレンスでは、 2 つのことに焦点を絞る計画が承認された。 これにより、 次回カンファレンスまでの 2 年間では、 サービスシステムプロジェクトのなかで明確にすべきいくつかの考えに関してフィールドテスト （実際に試してみること） を行い、 さらに話し合いを重ねることになる。

ただし、 これは正式の「最終チェック」ではなく「実地テスト」とする。 テストの性質と 2 年という実施期間によって、 できることがかぎられているからだ。 いくつかの国や地域の NA からは、 それぞれにカンファレンスで提示された改革案を実行に移した経験についてフィードバックが送られてきているが、 今回の改革案をどんな面からでも試してみることに関心のあるメンバーがいたら、 ぜひ、 私たちに連絡をして応援を求めていただきたい。 私たちは、 2012 年の 11 月にテストを開始し、 2013 年の 7 月末には終了したいと考えている。 それによって、2014 年のカンファレンスアジェンダレポートには要約をもりこむことができるだろう。 私たちが試せることにはある程度の限界があり、 真に「科学的な」テストを実施することは不可能だとしても、 私たちはすでに多くのことを学んできたのだし、 それを実際に試していくことで私たちが前進するために貴重な情報がもたらされるだろう。 これまでに開発されたさまざまな手段や道具をはじめ、 実地テストで試されていることに関してさらに詳しいことを知るには、 www.na.org/servicesystem で「フィールドテスティングフレームアンドツール （実地テストに関する実施期間と道具） の項目をご覧いただきたい。

なお、改革案にはほかにも明確にしなければならない面がいくつかある。 （NA が大きく成長していたり、 まだ小さかったりするなど） その地域なりに必要とされることに対応できるシステムにする方法、 システムの改革による文献の頒布や資金の流れのあり方、 ゾーンが果たす役割、 WSC （ワールドサービスカンファレンス） の議決権などだ。 2014 年までの 2 年間で予定されている議論についてさらに詳しい情報を知るには、 www.na.org/servicesystem の「サービスシステム関連資料」という項目で、「サービスシステム改革案について現在検討されていること」という書面をご覧いただきたい

そして今回もまた、 みなさんからの質問や問題点の指摘をお待ちしている。 それ以外にも、 みなさんのいる NA で現在、 GSU （グループサービスユニット） や合意に基づく意志決定など改革案について何かしら試している場合には、 その経験を E メール servicesystem@na.org でわかちあっていただくようにお願いする。 みなさんの協力がなければ、 改革案で示されている考えを地域サービスで実際に役立てていくことはできないのだ。 なお、このプロジェクトに関する最新情報は、 www.na.org/servicesystem で随時更新されることになっている。

『伝統』に関する書籍のプロジェクト

このようなプロジェクトとなれば、 大いに盛りあがるし、 アイディアも尽きないだろう。 これから２度のカンファレンスを経てプロジェクトを進めていくにあたり、 私たちはまず、 2012 年から 2014 年までの２年間で NA 全体の考えや意見、 原資料をまとめ、 幅広い合意が得られるようにしたいと思っている。 それにより、 次の 2014 年から 2016 年までの２年間には書籍の原稿作成プランができあがるだろう。

活発な議論によってさまざまな意見を提供していただくためにも、 ワークショップで役立つ資料とインターネットによる意見提供の書面が www.na.org/traditions に用意されている。 ぜひ、 さまざまな国や地域の NA でワークショップを開き、 メンバーたちから提供された意見をワールドボードへお寄せいただきたい。 その際には、 こちらで用意したワークショップで役立つ資料についても woldboard@na.org 宛にフィードバックをいただけるとありがたい。 そして、 世界中のメンバーたちがインターネットによる意見提供の書面を利用して、 自分の考えや経験を伝えてくれることを願っている。

このプロジェクトではほかにも、 インターネット上の掲示板をつくる予定でいる。 これは 2013 年のはじめには利用できるだろう。 それによって、 今回の２年間が終了するころには『12 の伝統』についてもっと具体的な経験を盛り込んだ提案書を作成できるようにしたい。

なお、 みなさんのスポンサーシップで伝統の理解に役立てている資料があれば、 そのコピーをいただけるとありがたい。 こちらに提供する意見に添付して、 worldboard@na.org 宛に送っていただくようにお願いする。

ＩＰ『アン・イントロダクション・トゥ・NA ミーティング』に関するプロジェクト

サービスパンフレットの第 1 弾として、『アン・イントロダクション・トゥ・NA ミーティング』が出版されてから 5 年近く経った。 このパンフレットのことがカンファレンスアジェンダレポートに盛り込まれ、 見直しと意見提供について NA 全体の承認を得られるようにするため、私たちはＩＰに関するプロジェクトを提案している。このプロジェクトに関するウェブページには、 以下のような手段や資料が用意されている。

- ✓ インターネットによる意見提供の書面
- ✓ 説明のメモ
- ✓ 現在使われているパンフレットと、 見直し用に内容だけファイル化したもの。
- ✓ www.na.org/intro

意見については、 worldboard@na.org 宛に送るか、 インターネット上の書面で提出してください。

『リビングクリーン：ザ・ジャーニー・コンティニューズ』

ナルコティクスアノニマスが 60 周年を迎えるとともに、『リビングクリーン』という新しい書籍も出版され、 私たちにはおめでたいことが２つも重なっている。 この『リビングクリーン』は私たちの経験と力と希望の集大成であり、 私たちの日常生活、 人間関係や恋愛、 ほかの人の役に立つことなど、 さまざまな面での回復を取りあげている。 NA W ay マガジンの誌面にも、 2013 年を通じて『リビングクリーン』の引用や抜粋を掲載していく。 それによって、「ひとりのアディクトがもうひとりのアディクトを手助けすることによる治療効果は、 類いまれなものである」ことがわかるだろう。

私たちが回復していく道のりには、 数え切れないほどの始まりがある。 歩みをはじめたばかりでもう、 一日は何度でもやり直せるということを学ぶ。 さらに歩みを進めていくと、 回復にはつねに新しい旅立ちがあり、 必要ならいつでも再出発できることを学ぶ。 人生をふいにしなくても、リセットはできるのだ。 そして、これで終わったと思っても、実際にはまだ始めたばかりだったりする。 望んでいたものがすべてＮＡによって与えられたときこそが、 私たちの新たな物語の幕開けとなる。 回復の途にあっては、 目標の達成が新な旅立ちになるのだ。

第３章「スピリチュアル・パス （スピリチュアルな道）」

私たちはみんなで一緒に自由への道をのぼりつめる。 そこにたどりつくために私たちはお互いを必要とするのだし、 そうしてみんなで夢を追い求めて支え合うことは、 私たちが NA で行う最も素晴らしいことのひとつなのだ。 ひとりひとりの希望と成功をみんなで共有するのは、 ひとりひとりの怖れと困難を共有するのと同じくらいメッセージを運ぶことでは欠かせないことになっている。 私たちには伝えるべき希望のメッセージがある。 それは贈り物であり、 義務でもある・・・・・・だから、 わたしたちはじっととどまって最後までやり通し、 人生を築いていくことができるのだとわかる。 NA プログラムによる回復は、 信じてゆだねることができるものだ。 心が定まれば、 私たちはいつでも新たな一歩を踏みだすことができる。

第２章「ザ・タイズ・ザット・バインド （心のきずな）」

Chapter Two, “The Ties That Bind”

カレンダー

ここには、 NA のホームページにあるイベントスケジュールをもとに数日にわたるイベントとその開催日程を載せてあります。 参加申し込みや問い合わせについては、 ホームページのスケジュールカレンダー www.na.org/events をご覧ください。 （インターネットを利用していない場合には、 ファクスまたは郵送で参加希望のイベントについてお問い合わせください。 FAX: : 818.700.0700　郵送 :「NA W ay」または「The NA Way」宛、 Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA. ）

デンマーク

エスビエル　3月1日～3日「シューデンマーク エリアコンベンション」（会場） プレステガーズコーレン （場所） エスビエル （問い合わせ） www.nasyddanmark.dk

ドイツ

ベルリン　5月3日～5日「ジャーマンスピーキング リージョン／ベルリンエリア インターナショナルコンベンション」（会場） ベルリン シティミッション （場所） ベルリン （問い合わせ） www.binac.de

インド

マハシュトラ　1月15日～19日「第15回 ボンベイ エリアコンベンション」（会場） モヒリ メドウズ リゾート ムンバイ （場所） モヒリ メドウズ （問い合わせ） www.nabombay.org

2） タミル ナードゥ　2月7日～9日「第4回 チェンナイ エリアコンベンション」（会場） YMCA イェラージリ （場所） チェンナイ （問い合わせ） www.chacna.org

メキシコ

ディストリティオ フェデラル　3月28日～31日「第16回 メキシコ リージョナルコンベンション」（会場）ホテル メトロポル （場所）ディストリティオ フェデラル （問い合わせ） www.namexico.org.mx

ネパール

サーケット　2月9日～11日「第1回 サーケット エリア キャンプアウト」（会場） ララ フードランド （開催地） バイレンドラネガ （問い合わせ） surkkhetasc@gmail.com

ノルウェー

トリシル　3月13日～17日「第7回 トリシルグループ スキー＆リカバリー」（主催） トリシル グループ （場所） トリシル （問い合わせ） www.nanorge.org

フィリピン

カビデ　1月25日～27日「第18回 フィリピン リージョナルコンベンション」（会場）エンジェルズ ヒルズ （場所）タガイタイ （問い合わせ） www.pnarc18.weebly.com

タイ

チョンブリー　2月22日～24日「第6回 タイランド リージョナルコンベンション」（会場） アジア パタヤ ホテル （場所） パタヤ （問い合わせ） www.na-thailand.org

アメリカ合衆国

アラバマ　1月18日～20日「セントラルアラバマ エリアコンベンション」（会場） ルネサンス モンゴメリーホテル （場所） モンゴメリー （問い合わせ） Tel. 334.315.0133

2） 2月8日～10日「ノースアラバマ エリアコンベンション」（会場） ホリデイ イン ダウンタウン （場所） ハンツビル （問い合わせ） Tel. 256.874.4083

3） 3月29日～31日「第16回 グレーターモービル エリアコンベンション」（会場） モービル マリオット （場所） モービル （問い合わせ） Tel. 251.751.7849

アリゾナ　3月8日～10日「第4回 メキシコ・アリゾナ・カリフォルニア コンベンション」（会場） シャイロ イン （場所） ユマ （問い合わせ） www.maccna.org

アーカンサス　2月8日～10日「第28回 テクサーカナ エリアコンベンション」（会場） オースティン ホテル＆スパ （場所） ホットスプリングス （問い合わせ） Tel. 903.244.0513

カリフォルニア　1月18日～20日「第18回 サンフェルナンド・バレー エリアコンベンション」（会場） バーバンク エアポート マリオット （場所） バーバンク （問い合わせ） www.nasfv.com/convention

2） 2月22日～24日「際21回 セントラルカリフォルニア リージョナルコンベンション」（会場） ベーカーズフィールド マリオット （場所） ベーカーズフィールド （問い合わせ） www.ccceinc.org

3） 3月28日～31日「第35回 ノーザンカリフォルニア リージョナルコンベンション」（会場） サンタクララ コンベンションセンター／ハイアットリージェンシー サンタクララ （場所） サンタクララ （問い合わせ） www. norcalna.org/nccna.php

4） 3月29日～31日「第28回 サンディエゴ インペリアルカウンティーズ リージョナルコンベンション」 （会場） シェラトン サンディエゴ ホテル＆マリーナ （場所） サンディエゴ （問い合わせ） www.sandiegona.org

フロリダ　4月5日～7日「第5回 トリプル M グループ メンズ スピリチュアルリトリート ［男性限定］」 （会場） シーダーカーク キャンプ＆カンファレンス センター （場所） リースィア （問い合わせ） a123dtg@yahoo.com

ジョージア　3月21日～24日「第32回 ジョージア リージョナルコンベンション」（会場） ジキルアイランド コンベンションセンター （場所） ジキルアイランド （問い合わせ） www.grcna.org

インディアナ　3月8日～10日「第20回 インディアナ ステートコンベンション」（会場） ダブルツリー （場所） サウスベンド （問い合わせ） www.naindiana.org/events.php

2） 3月29日～31日「第27回 ケンタッキアーナ リージョナルコンベンション」（会場） クラリオン イン （場所） エバンズビル （問い合わせ） Tel. 812.305.2872

カンザス　4月5日～7日「第30回 ミッド・アメリカ リージョナルコンベンション」（会場） ホリデイ イン （場所） ローレンス （問い合わせ） www.marscna.net

ケンタッキー州　1月14日～16日「第23回 ルイビル エリアコンベンション」（会場） ラマダ プラザ （場所） ルイビル （問い合わせ） Tel. 502.693.8678

メリーランド　6月14日～16日「第17回 イーストコースト コンベンション」（会場） ワシントンカレッジ （場所） チェスタータウン （問い合わせ） www.eccna.org

マサチューセッツ　1月25日～26日「サウスショアーエリア 27周年記念／ワールドサービス ワークショップ」（会場） ファースト イベンジェリカル ルーテルチャーチ （場所） ブロックトン （問い合わせ） www.nerna.org/events

ミシガン　3月28日～31日「第21回 デトロイト エリアコンベンション」（会場） マリオット ルネサンス センター （場所） デトロイト （問い合わせ） www.michigan-na.org/dacna

ミネソタ　4月12日～14日「ミネソタ リージョナルコンベンション」 （会

場） ホリデイ イン＆スイーツ （場所） ダルース （問い合わせ） www.naminnesota.org

ネブラスカ 2月22日～24日「第26回 クロースエンカウンターズ オブ クリーンカインド （クリーンという未知との遭遇）」（会場） マリオット リージェンシー （場所） オマハ （問い合わせ） www.nebraskana.org

ネバダ 7月19日～21日「第21回 カリフォルニア・アリゾナ・ネバダ エリアコンベンション」（会場） リバーサイド リゾート＆カジノ （場所） ラフリン （問い合わせ） www.canana.org

２） 3月1日～3日「リージョン 51 ／第10回ノース バイ ノースウェスト エリア ドープス オン スロープス」（会場） シーダーブレークス ロッジ （場所） ユタ州 ブライアンヘッド （問い合わせ） www.nxnwana.org

ニュージャージー州 1月18日～20日「第17回 NE ニュージャージー エリアコンベンション」（会場） ルネサンス ウッドブリッジ （場所） イズリン （問い合わせ） www.nanj.org/njconventions.shtml

２） 2月15日～17日「第7回 グレーターニューアーク エリアコンベンション」（会場） シェラトン メドウランズ ホテル＆カンファレンスセンター （場所） イースト ラザーフォード （問い合わせ） www.nanj. org/njconventions.shtml

ニューヨーク州 1月18日～20日「第10回 ナッソー エリアコンベンション」（会場） ヒルトン ロングアイランド ハンティントン （場所） メルヴィル （問い合わせ） www.nacna.info

２） 2月1日～3日「第25回 フィンガーレイクス エリアコンベンション」（会場） ホリデイ イン （場所） ウォータールー （問い合わせ） www.flana.net

３） 2月15日～17日「第8回 メトロ エリア ド ハブラ ヒスパナ コンベンション ［スペイン語］」（会場） クラウン プラザ ホテル （場所） ホワイトプレーンズ （問い合わせ） www.mahh.org

４） 2月22日～24日「第19回 ロチェスター エリアコンベンション」（会場） ラディソン ホテル （場所） ロチェスター （問い合わせ） www.rochesterny-na.org

ノースカロライナ 2月22日～24日「第12回 フリーダム バイシー コンベンション」（会場） シー トレイル ゴルフ リゾート＆コンベンションセンター （場所） ウィルミントン （問い合わせ） www.coastalcarolinaarea.org

Coming Soon

German

It Works: How & Why

Es funktioniert: Wie und Warum

Item No. GE-1140 Price US $8.10

オハイオ 2月1日～3日「第16回 トレド エリアコンベンション」（会場）グランド プラザ ホテルダウンタウン （場所）トレド （問い合わせ） www.blascna.org/

２） 3月1日～3日「第10回 クリーブランド レッグス エリアコンベンション」（会場） ホリデイ イン （場所） インディペンデンス （問い合わせ） www.naohio.org/Statewide%20Functions.htm

オクラホマ 1月18日～20日「ノーマン ウィンター コンベンション」（会場） ホリデイ イン （場所） ノーマン （問い合わせ） elizabeda777@aol.com

２） 3月15日～17日「第16回 サークル オブ シスターズ コンベンション ［女性限定］」（会場） マリオット サザンヒルズ （場所） タルサ （問い合わせ） www.circleofsisters.org

３） 4月12日～14日「第27回 オクラホマ リージョナルコンベンション」（会場） シェラトン リード センター （場所） ミッドウェスト シティ （問い合わせ） www.okna.org

ロードアイランド 2月8日～10日「第15回 ニューイングランド リージョナルコンベンション」（会場） ハイアット リージェンシー （場所） ニューポート （問い合わせ） www.nerna.org/events

サウスカロライナ 1月25日～27日「第33回 アッパー サウスカロライナ エリアコンベンション」（会場） マリオット （場所） グリーンヴィル （問い合わせ） www.crna.org

２） 2月15日～17日「第12回 グレーターコロンビア エリア リカバリー アットワーク」（会場） マリオット リゾート＆スパ （場所） ヒルトン ヘッドアイランド （問い合わせ） Tel. 803.479.4896

テネシー 4月5日～7日「第1回 ミッドウェスト テネシー エリアコンベンション」（会場） ダブルツリー （場所） ジャクソン （問い合わせ） www.mwtna.org

テキサス 2月1日～3日「第13回 デジャス ブルーボネット リージョナル コンベンション」（会場） ヒルトン ヒューストン ノース （場所） ヒューストン （問い合わせ） www.tbrcna.org

２） 3月14日～17日「第24回 リオグランデ リージョナルコンベンション」（会場） マリオット （場所） エルパソ （問い合わせ） www.riograndena.org/rgrcnaxxiv

３） 3月28日～31日「第28回 ローン スター リージョナルコンベンション」（会場） ヒルトン DFW レイクス （場所） グレープバイン （問い合わせ） www.lsrna.com

４） 4月5日～7日「第2回 サウスイーストテキサス エリアコンベンション」（会場） MCM エレガンテ （場所） ボーモント （問い合わせ） www.setacna.org

ユタ 3月1日～3日「リージョン 51 ／第10回ノース バイ ノースウェスト エリア ドープス オン スロープス」（会場） シーダーブレークス ロッジ （場所） ブライアンヘッド （問い合わせ） www.nxnwana.org

２） 3月14日～17日「第20回 ノーザンユタ エリアコンベンション」（会場） デイビス カンファレンスセンター （場所） レイトン （問い合わせ） www.northernutahna.org

バージニア 3月1日～3日「第12回 タイドウォーター エリアコンベンション」（会場） マリオット （場所） チェサピーク （問い合わせ） www.tidewaterareana.org

ワシントン 3月7日～10日「クリーン＆フリー コンベンション」（会場） オーシャンショアズ コンベンションセンター （場所） オーシャンショアズ （問い合わせ） www.wnirna.org

NAWS Product Update

Living Clean: The Journey Continues

Commemorative Edition

Features full-color leatherette cover, detailed stitching, debossed NA logo, foil-stamping, and gilded edges. Limited quantity collector's edition is hand-numbered, & includes a unique magnetic bookmark.

Item No. 1155 Price US $30.00

NA: A Resource in Your Community

2012 Version

Item No. 1604 Price US $0.35

Item No. NR-1604 Price US $0.35

Arabic

الأمور المالية الدعم الذاتي في زمالة المدمنين المجهولين

Item No. AR-3124 Price US $0.48

أين تذهب أموالنا التي نتبرع بها في السلة

Item No. AR-3128 Price US $0.32

Greek

Basic Text

Ναρκομανείς Ανώνυμοι

Item No. GR-1101 Price US $7.50

Hungarian

Basic Text

Narcotics Anonymous

Item No. HU-1101 Price US $7.50

Italian

Social Media & Our Guiding Principles

I Social Media e I Nostri Principi Guida

Item No. IT-2207 Price US $0.28

Norwegian

A Resource in Your Community, 2012 Version

En ressurs i ditt lokalsamfunn

Polish

A Resource in Your Community, 2012 Version

Zasoby w Twojej społeczności

Item No. PL-1604 Price US $

Swahili

Nani, nini, jinsi gani, na kwa nini

Item No. SH-3101 Price US $0.22

Je mimi ni mraibu?

Item No. SH-3107 Price US $0.22

Kwa mgeni

Item No. SH-3116 Price US $0.22

Karibu kwenye Narcotics Anonymous

Item No. SH-3122 Price US

Turkish

An Introductory Guide to NA

Adsız Narkotik'e Giriş Kılavuzu

Item No. TU-1200 Price US $1.80

A Resource in Your Community, 2012 Version

Toplumunuzda Bir Kaynak

Item No. TU-1604 Price US $0.35

Deeply discounted

WCNA Merchandise

spirit of unity

is available online!

www.hicorpinc.com/na

Clothing, caps, mugs, travel mugs, specialty items like
screen/eyeglass cleaning cloths & other WCNA merchandise, too.

Treat yourself or buy a gift for a friend or sponsee/sponsor.

NA W ay マガジンの所有権、 経営管理、 発行部数について

NA W ay マガジン （ISSN 1042 – 5421） は年に 4 回発行されています。 ただし、 購読料を必要とする出版物ではありません。 出版局は 19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311 に所在し、 郵便の宛先は PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409 となっています。 編集責任者はド・ジェンキンズです。 NA W ay マガジンは非営利法人である NAWS Inc. （（NA ワールドサービス社） に所有権があり、 NAWS 以外に社債権者、 抵当権者、 証券所有者となるものは存在しません。 この法人格には、 この記載に先立つ 12 ヵ月間で変更はありません。

頒布状況	平均発行部数 過去 12 ヵ月における	実際の発行部数 2012 年 10 月 1 日現在の
印刷部数の合計	9,613	10,750
アメリカ国外の購読希望者	9,070	10,315
購読希望者の総数	9,070	10,315
実質無料による配布数の合計	350	275
総配布数	9,420	10,590
未配布の部数 （出版局用）	193	160
合計	9,613	10,750
購読希望による頒布の割合	96.3%	97.4%

以上の記載に間違いはありません _____ 。